

平成18年度 第1回麻生区区民会議 摘録

1. 開催日時 平成18年7月27日(木)午後6時00分～8時10分

2. 開催場所 麻生区役所第1会議室

3. 出席者 [委員]

石田委員、上野委員、尾中委員、笠原委員、神本委員、
佐藤委員、菅原委員、高桑委員、谷川委員、中島委員、
西谷委員、平林委員、松本委員、京委員、守田委員、
矢野委員

(欠席)小川委員、玉蟲委員、津田委員、寺田委員

[参与]

伊藤参与、尾作参与、佐藤参与、菅原参与、花輪参与、
山崎参与、吉田参与

(欠席)雨笠参与、相原参与、

[事務局]

高阪区長、磯野副区長、向坂総務企画課企画調整担当主幹、
岩佐総務企画課企画調整担当副主幹、

4. 次第

(1) 開会

(2) あいさつ

(3) 委員・参与紹介

(4) 会議の公開について

(5) 議事

1 委員長及び副委員長の選出について

2 麻生区区民会議の運営について

3 (仮称)企画部会委員の選出について

4 第2回区民会議での調査・審議課題について

(6) 報告事項

・「川崎市都市計画マスタープラン素案」概要説明

(7) その他

(8) 閉会

【配布資料一覧】

次第、席次表

資料1 麻生区区民会議委員・参与名簿

2 麻生区区民会議の運営について

(参考資料) 区民会議諸規程体系図

3 区民会議委員等からの提案課題

4 川崎市都市計画マスタープラン素案

5 議事摘録

(1) 委嘱状交付

高阪麻生区長より各委員へ交付

(2) あいさつ

高阪麻生区長よりあいさつ（阿部市長からビデオによるあいさつあり）

(3) 委員・参与紹介

各委員自己紹介及び参与紹介

(4) 会議の公開

「川崎市審議会等の会議公開に関する条例」第3条の規定に基づき公開

(5) 議事

1 委員長及び副委員長の選出について

(司会) それでは、次第5の議事に移らせていただきます。初めに、議事の(1)委員長及び副委員長の選出についてのご審議をお願いしたいと思います。なお、委員長及び副委員長が選出されるまでは区長を座長として進行させていただきます。

(区長) 委員長及び副委員長の選出までの間、進行役を務めさせていただきますので、よろしくお願ひします。区民会議の委員長及び副委員長につきましては、お手元の資料2、参考資料の「区民会議諸規程体系図」の2ページ「川崎市区民会議条例」をご覧ください。第5条に「委員長及び副委員長を置き、委員の互選により定める」と規定されておりますので、これにより委員長及び副委員長の選出をさせていただきます。なお、副委員長の人数でございますが、区民会議の議事を円滑に進めるためには、委員長を補佐する副委員長の役割は大変重要でございますので、2名とさせていただきます。いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

(区長) ありがとうございます。異議なしという声が聞こえましたので、麻生区区民会議では副委員長は2名と決定させていただきます。初めに、委員長を選出したいと思います。どなたか委員長に立候補される方あるいはご推薦をいただける方がいらっしゃいましたら挙手をお願いしたいと思います。

(委員) 推薦を申し上げたいと思います。西谷明子さんをお願いをしたいと思ひます。今ごあいさつにもありましたが、麻生区で生活をされて30年というお話がございましたが、区内事情もそれならば十分にご存じでしょうということが1つ、それから、中央大学の名誉教授をなさっておられるということで高い識見をお持ちの方であるということが2つ目、これもご自身のお話の中にありましたが、川崎市の教育委員として、2期8年にわたって川崎の

教育の発展のためにご尽力をされてきたということを通して、川崎市の事情について広く存じ上げているのではないかということ等を含めまして、西谷先生をご推薦申し上げます。

(区長) ありがとうございます。ただいまの佐藤委員の方からの西谷委員を委員長にというご推薦でございますが、皆様いかがでしょうか。

[拍手]

(区長) ありがとうございます。それでは今拍手をいただきましたので、西谷委員に委員長にご就任いただきたいと思います。よろしくお願いをしたいと思います。続きまして、副委員長の選出に移らせていただきます。どなたか副委員長に立候補される方、あるいはご推薦をいただける方がいらっしゃいましたら挙手をお願いしたいと思います。

(委員) これまで自治基本条例の検討委員でいらっしゃるとか、区政推進会議の委員、それからこの区民会議の本実施に先立ちまして行われました試行区民会議で制度設計等をご検討いただきました石田厚生委員にぜひ副委員長をお願いしたいと思って推薦させていただきます。

(区長) ありがとうございます。

(委員) 同じでございます。

(区長) 2名ということなので、もう1名いかがでしょうか。

(委員) やはり私たち人間が生きていくところには文化が必ず、生活文化も文化でございますので、私も推薦をさせていただきたいのですが、麻生市民館の館長もしておられた経験もおありですし、それから、先ほどこの地域を愛することにはだれにも負けないという心強いお言葉がいただけましたし、やはりこの地域のいろいろな面で盛り上げていただいたり、いろいろな意見を皆さんから吸収していただきたいので京利幸さんをご推薦させていただきますと思いますが、いかがでしょうか。

(区長) ありがとうございます。ほかにいらっしゃいませんかでしょうか。それでは、ただいま石田委員、京委員を副委員長にというような推薦がございましたので、皆様拍手をお願いしたいと思います。

[拍手]

(区長) ありがとうございます。それでは、石田委員、京委員に副委員長にご就任いただきたいと思います。どうぞよろしくお願いをいたします。

それでは、委員長及び副委員長の選出が無事終了いたしましたので、これで座長の任を解かせていただきたいと思います。議事の進行にご協力いただきまして、まことにありがとうございました。

(司会) それでは、西谷委員、委員長席の方へ、石田委員と京委員は副委員

長席の方に今用意をしますのでお移りください。

[委員長、副委員長 着席]

(司会) それでは、一言ずつ就任のごあいさつをいただきたいと思います。まず、西谷委員長の方からお願いをいたします。

(委員長) 図らずも、ご推薦いただきまして、この大任を仰せつかりました西谷でございます。よろしくお願いいたします。いろんな仕事をして来ましたが、やはり区民として本当に足をつけて暮らしていたかなと思ったりもしますが、有能なお二人の副委員長さんがおられるので、安心してやらさせていただきますいただきたいと思っております。初めての区民会議でもありますし、これからの方向性をつけていくということで非常に責任が重いと思っておりますが、ぜひ皆様に協力の方をよろしくお願ひしたいと思ひます。特に、石田委員、京委員にはぜひよろしくサポートをお願いしたいと、私が足りないところを援助していただければと思ひます。皆さんもぜひご協力のほどよろしくお願ひいたします。(拍手)

(司会) ありがとうございます。石田副委員長お願ひします。

(副委員長) 副委員長に推薦されました石田でございます。守田委員から過分な推薦のお言葉をいただきましたけれども、私自身、試行の区民会議の委員ということで、中島委員、小川委員などの方々と試行の区民会議の3回を通じまして、今回の本実施の区民会議の、どういふ区民会議にしたらいいか、特に麻生区としてはどんな内容にしたらいいかを検討してまいった経験がございます。この区民会議に対する区民の方々の大変な期待と同時に、いろんな注文、もしくは懸念といった声も、率直な声を区民の方々から聞いたように思ひます。先ほど市長のあいさつにもありましたけれども、この区民会議というものは、ただ単に口を出して、ああしてほしい、こうしてほしいという会ではなくて、自分たちでそれを解決していこうという、そこまで持っていかなければならない会議だと理解しております。私どもはたまたま20人おるわけでございますけれども、20人ではそのような重責を負えないと思ひます。区民の方々のご理解、ご支援がなければ区民会議というものは決して成果は上がらないと理解しております。西谷委員長、京副委員長を初め、委員の方々のお力をかりながら、何よりも区民の方々にご理解いただくよう、ご支援いただくような区民会議にしていけたらと微力ながら尽くしてまいりたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。(拍手)

(司会) ありがとうございます。続きまして、京副委員長お願ひします。

(副委員長) 私は65歳になりましたが、適度なストレスと適度な緊張感がほけを防ぐ、そんな言葉がある精神科の医者が言っていますが、私はそれを肝

に銘じながら、今日、さまざまな地域活動にかかわって、精いっぱい生きていきたいと思っています。適度な緊張になるのか、適度なストレスになるのか、非常にこの会議の重要性を認識したばかりに、適度という言葉では言い足りない、過度なストレスになりそうです。異常な緊張感をもたらすと思っています。しかし、区民会議に課せられた責任と役割を、委員長を中心にしながら、皆さん方とよりよい協議ができるような環境をつくっていききたいと思っています。よろしくどうぞお願いいたします。（拍手）

（司会） ありがとうございます。西谷委員長、石田副委員長、京副委員長におかれましては、よろしくお願いをしたいと思います。それでは、これからの議事進行は西谷委員長にお願いをいたします。

2 麻生区区民会議の運営について

（委員長） それでは、早速議事に入りたいと思います。

区民会議の次第をご覧いただきたいと思いますが、委員長、副委員長の選出が終わりましたので、2番目の麻生区区民会議の運営についてというところに入りたいと思います。この説明を事務局にお願いしたいと思います。

（事務局） 総務企画課企画調整担当より資料に基づき説明（資料2）

（委員長） ありがとうございます。ただいまの麻生区区民会議の運営についてのご説明がありましたが、皆さんから何かご意見、ご質問ございませんでしょうか。この運営について、ご質問などございませんようでしたら、この麻生区区民会議の運営について取りまとめをしたいと思います。

まず1点目は、委員長及び副委員長、特に副委員長2名を置くというのは、選出の前に決定いたしましたので、次の2点目として企画部会、いわゆる仮称ですが、この企画部会を設置することについて、また名称について皆さんからご意見をいただきたいと思いますがいかがでしょうか、企画部会についてご意見ございませんでしょうか。それでは、まず最初に、企画部会というこの名称、これについてお諮りしたいと思いますが、企画部会という名称でよろしいでしょうか。よろしいようでしたら挙手をお願いします。

〔 全員挙手 〕

（委員長） ありがとうございます。全会一致で、企画部会というこの名称を使うことにします。

3 （仮称）企画部会委員の選出について

（委員長） 企画部会を設置しますが、まず企画部会の委員を選出します。ただいまご説明がありましたが、2、3名の方をお願いしたいと思っております。ご意見がございましたらお申し出いただきたいと思っております。

（委員） お伺いしたいと思います。企画部会には委員長さん、副委員長さん

ですが、今選出されましたお三方がここへはまるという認識でよろしいでしょうか。そのほかに委員を2ないし3というご提案がございましたが、やはり2であるか3であるか、はっきりした方が考えやすいので、その辺の絞りをよろしくお願ひしたいと思ひます。

(委員長) いかがでしょうか。2名がいいか、3名がいいかというところをはっきり決めた方がいいのではないかとということですが、現在、委員長、副委員長で3人、それにプラス2人ですと5人。5人にするか6人にするかということだと思ひますが、ご意見をいただきたいと思ひます。

(委員) 初めてのことなので、どういうふうになるのかということがよくわからないわけですよ。仕事が多くあった場合のことを考えると、3名くらい、多い方がいいのではないかとこの気がします。

(委員長) 今、上野委員の方からは、3人にした方がいいのではないかとこのご意見ですが、ほかに何かご意見がありますでしょうか。2名にするか3名にするかというのは、企画部会については「委員の互選により決定する」となっておりますが、委員で例えば立候補または推薦していただいて、2人しかいなければ2人にする、3人いれば3人にする、それ以上になると、余り人数が多いと企画部会が決定しにくくなりますので、そこはまた互選し直すことでどうでしょうか。そういう決定の仕方でよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

(委員長) それでは、まず3名手を上げる方があれば3名、2名であれば2名ということで、それ以上になった場合は調整をするという形で進めさせていただきたいと思ひています。それでは、企画部会の委員としてぜひやってみようという方がありましたら、ぜひ積極的にお願ひしたいと思ひしておりますがいかがでしょうか。今のところ上野委員、神本委員、佐藤委員、守田委員と、一応4人立候補者が出ました。ほかはありますか。それでは、先ほど人数の件が出ましたけれども、2名ないし3名くらいということで、お話し合いをさせていただいて、決定させていただくということでよろしいでしょうか。そうしましたら、会議終了後、それでは4人の方にお残りいただいて、2名ないし3名ということで決定していきたいと思ひます。

(委員) 議事に協力したいと思ひます。上限3という中で、今立候補4人ですよ。私、手を上げましたのは、委員長さんをご推薦申し上げて、自分で何も野に下ってやらないというのは、武士道に反するかという思いがありまして手を上げましたが、議事をスムーズに解決するがため、私、おります。

(副委員長) 企画部会というのは初めてのことでわからないですよ。この企画部会の役割を見ますと、一種のお世話をする会と認識しています。年に

3回か4回しか行われぬ本会議を少しでも効率よく進めるためには事前の準備が必要だということで設けられた、いわゆるお世話役、縁の下の力持ちの役ですから、そういったことを理解されて手を上げてくださった方は、4名でも構わないと思いますし、この企画部会というのは来年、再来年、今後とも続いていくので、今の段階で余り制約をつける必要もないような気がしますけれども、立候補された全員になっていただけたらいいかと思っております。

(委員長) 確かに、この会が年4回ということですので、スムーズに進めるための準備をしていくというものですから、いろんな分野の方に入ってください方がいいということは私自身も思っております。それでは、4人の方をお願いするということがよろしいですか。

[拍手]

(委員長) 上野委員、神本委員、佐藤委員、守田委員の4人の方に企画委員をお願いすることにしたいと思います。続きまして、議事の4、第2回の区民会議での調査・審議課題について、課題に入っていきたいと思っております。

(副委員長) 企画部会ですけれども、確認したいのですが、この資料2の会議の運営について、企画部会の4項目に「次に掲げる事項を処理する」ということで、ア、イ、ウと3つ書いてあります。資料3「機能のイメージ図」というA3の横長の資料を見ますと、「役割」の中にもう一つ「区民会議で委任を受けた事項」というのがあります。これは幅を持たせるために入れておいた方がいいような気がしますが、どういうお考えでしょうか。

(委員長) それでは、事務局の方から説明をお願いします。

(事務局) 今、石田副委員長の方からご質問のありましたことについて事務局からお答えしたいと思います。資料2の運営要領案の各項目で落とさせていただいている事項ですが、これにつきましては、企画部会でもんでいただきまして、条文化したものを本会議の第2回でかけたいと思っております。その中で、企画部会で、今石田副委員長の方からおっしゃっていただきました、イメージ図にございます「区民会議で委任を受けた事項」という部分を条文化するときに入れるという形で対処させていただいて、またそれについては、本会議の方で入れたものでよろしいかどうかということをおかけしてご承認をいただきたいと思っております。よろしいでしょうか。

(副委員長) もう一つ、このイメージ図の右横に「進行管理・評価」というのがありますね。これは、必ずしも企画部会ではなくて、区民会議全体のように見えますが、「進行管理・評価」というのは言うまでもなく、非常に重要なことで、常に我々進行させていく中でもって評価をしていくということは大事だと思いますが、自己評価なのか、第三者を入れての評価なのかとい

う問題もあると思いますけれども、この辺はどこでやるように考えていますか。それからもう一つ、きょうは話が出ていませんが、麻生区でも協働推進事業という区長裁量の5,000万円、ことしから5,500万円ですけれども、これを使って事業をされていますよね。区政推進会議で審議・評価をやっていたのですけれどもこの会議はなくなったわけで、その機能は区民会議に引き継ぐということにされているわけですね。協働推進事業の審議・評価というのは課題解決の問題とは色合いが違ってくると思いますが、区民会議では、どこでやっていくと考えるか、一緒にお答えいただきたいと思います。

(事務局) その点も含めまして、この要領に落とした時点でお諮りをしたいということでございます。「進行管理・評価」の部分も区民会議の役割の中で、フィードバックをしていかなければいけないということがございます。そのあたりも含めて、区民会議の運営に関するものを決めていくこととなりますので、企画部会の方でご審議いただき、その上で本会議にお返ししてよろしいかどうか、決めていただければと存じます。よろしいでしょうか。

(副委員長) わかりました。

(委員長) 今石田副委員長からも発言がありましたけれども、こういうことも盛り込んだ方がいいのではないか、これに落ちている問題、その他ありましたら、事務局の方にお申し出いただいて、企画部会の方でそれをどうするか練って、次回の区民会議に諮って決定をするということにしたいと思っております。企画部会では決定しませんので、企画部会ではいろんな案を練って、それで皆さんに提案する材料をつくっていくということにしますので、その点、ぜひ何か疑問に思われたことや補足したいことが後で気がついた場合でもお申し出いただければと思っております。よろしいでしょうか。

4 第2回区民会議での調査・審議課題について

(委員長) では、次の調査・審議課題についてということで皆さんから出していただいたものがございますので、事務局の方からご説明をいただきたいと思っております。よろしく申し上げます。

(事務局) 総務企画課企画調整担当より資料に基づき説明(資料3)

(委員長) ありがとうございます。提案課題について、市民からの提案も含めて23課題提案があり、それを分野別にまとめたものが1番最初のページにあります。これをすべて次回の区民会議で審議するということはとてもできませんので、少し絞っていきたいと思っております。皆さんもいろんな思いがあたりだと思えますし、ぜひという課題も多いと思いますが、具体的な課題、調査・審議の課題を決める方法をとっていかなくてはなりませんので、皆さんからこの課題設定についてのご意見をいただき、次回のときに少

し具体的に進められるようにしていきたいと思っております。前もってお配りしてあるので、ざっと目を通していただけていると思いますが、ご意見いただきたいのですがいかがでしょうか。この分野別を見ますと、 から までありますが、この中で一番多く出ているのは、「子育て、教育など人を育て心をはぐくむ分野」、ここが6課題あるということで一番多いところです。どれを見ても、オーバーラップしていますね。ここ一つで限局するものではなくて、いろんなところで交差して考えることができると思います。何かご意見をいただけたら、企画部会で次回に提案することがスムーズになると思いますので、ぜひお願いしたいと思っております。いかがでしょうか。

(委員) この課題を見ますと、既にいろんな形で進めている課題がかなり入っています。もう既に手をつけているものについては、余り並行してやるということはないで、むしろ区として統一的に活動できるような方向での解決策を考えていった方がいいのではないのかと思います。例えば、防災の問題については、随分いろんな組織があって、いろんな機材の改良も進められておりますから、そういう従来の区の活動と調和したような課題の解決方法を考えていった方がいいのではないのかと思います。

(委員長) ありがとうございます。確かに、もう既に相当行われているものの中にはあるようです。また、ある一定の地域ではやっているけれども、そうでないというものもあります。少し選択しながらやっていく必要があると思いますが、中心とした課題として、どういうことを分野として考えていくかが一つあると思いますがいかがですか。このあたりが一番大事な部分になると思っておりますが。いろんな課題が多岐にわたってあるわけですが、この一覧表でいろんな課題が入ってしまして、例えば一番課題数が多かった子育て、教育などという場合に、ほかはやらないということではなくて、やはり順次やっていきたいし、優先順位として何から始めていこうかということだと思います。その中で取り組めるものがあったら一緒に取り組んでいく方法もとれるのではないかと思いますがいかがでしょうか。

(委員) 私も出した一人ですけれども、全部それぞれの立場の中で出ていますから、10人が10人いれば10人とも違うものが出てきているわけですね。その中で、優先順位を出す場合に、やはり人数の多いところ、関心があることとなると、例えば、先ほど6人が出されたものが多いのではないかと、それを優先的にやっていってみるというのも一つの方法ですよね。

(委員長) 今高桑委員から課題数の6つある子育て、教育をまず取りかかったらどうかというご意見ですが、ほかにご意見ございませんでしょうか。

(委員) この分野自体がかなり規程に関する分野ということで分けられてい

るのですが、この中を全部拝見しますと、分けられないものが非常に多いです。私が個人的に見て一番多いのではないかというのは、自分の興味的なものもありますが、やはり16番の「地元農産物が結ぶ地域の交流」ということでかなりコミュニティに関するところが数として上がっているんじゃないかと思っています。例えば14番、22番、23番、3番、12番、このあたりは集まるような場所、みんなでうまくコミュニティをつくりたいという要望がすごく出ています。そういうことでいくと、何かコアになるところを、コミュニティ形成のために何をしていたらいいのかということの一つ、私は案として出てくればいいのかと感じています。あと、例えば10番にあります、「交差点における右折、左折の増設」など、このあたりのことをこのレベルでどうやって議論していくのかというのは疑問に思います。我々にどれぐらいの裁量があって、どれぐらいできるのかということも考えながら進めていかないと困るというふうには感じます。

(委員長) 尾中委員の方から今コミュニティという問題が出たと思いますが、やはり、心をはぐくむとか、人との連携を大切にするとか、これが結局「地元農産物が結ぶ地域の交流」とか、子育ての問題だとか、高齢者の問題だとかとも、いろいろとオーバーラップして取り組めることはあるだろうと思います。ただ、どういう観点を入れていくか、一番大きい視点としては、この細かいところを一つずつ全部挙げていくと大変なので、一つ大きいところを考えて、それに重要そうなものをほかのいろんなところから引っ張ってきて、それで具体的に何をやっていくか、何を行動していくかというふうにしていく方がいいのではないかと思うのですが、いかがでしょうか。

(委員) この内容を見ますと、行政として大分、町会、自治会、自主防災、あるいは防犯協議会とかそういうものを通じて、常にやっていることが非常にあるわけです。縦割り行政で、横の連絡がないですから、行政内部で一応チェックしてもらって、それで諮る必要があるのではないかと思います。現実には行政としても相当やっている問題が多いわけですよ。その辺を一つ整理して、提案していただいた方がいいのではないかと思います。

(委員長) ありがとうございます。平林委員からも最初に触れましたけれども、もう既にやっているもの、行政で手をつけていくもの、こういうものと我々がやっていくものというのは、少しずつ選択して全部が取り上げる問題ではないかと思いますが。ぜひ取り上げたらいいものがこの中でたくさん見られますので、例えば場づくりだとか、場の設定だとかというと、この7番目のところに入っているものも、おのずから入ってこざるを得なくなってくるというものもあります。どうでしょうか、一覧表ではこの7分野の分類

になっていますが、共通で考えられる、分野を越えて考えられるものとする
と、一番多かった子育てだとか教育とか、人を育て心をはぐくむという分
野。こういうものだと子育てや教育ばかりでなくて心をはぐくむ分野とい
うことを考えるとほかとも連携してくる、その中で何をやっていくかとい
うふうにしていく方がいいのではないかと思います、いかがでしょうか。

(委員) 初めから何か課題を持って解決を、初めから議題をきちんと決めな
ければならないということは、この区民会議が目的としていることな
のでしょうか。私はそうではないと思うのです。この区民会議のメンバーは、そ
れぞれのいろんな経験がおありだと思えるのですけれども、ある分野におい
てはものすごく深い経験と識見を持っていらっしゃる。しかしながら、ほかの
ところでは余りわからないということが非常にあるのではないかと。ここに
課題が23出ておりますけれども、これも非常に深い問題があるものと、比較
的解決がしやすいものもあるわけですね。先ほどの中島委員からもお話があ
りましたように、既に行政とか、いろんな場面において検討がなされてお
ると、したがって方向的には大体こちらの方向に行っているということがわか
っているものもかなりあるわけですね。その辺のところの精査をきちん
としてから、この課題に向かっていく方が、回り道かもしれませんが、区
民会議としてのあり方になるのではないかと私は思います。今回はここにあ
る23の課題が具体的に現在はどうなふうな取り組みになっていて、どこまで
進んでいるんだというようなことを皆さんにわかるような、企画部会と行政
が一緒になって、そういう今の現状はこれがどの辺までいっているんだとい
うことの現状の白書というか、簡単なものにまとめて、次回にきちんと、委
員の知識のレベルを統一することがスタートとしては一番重要じゃないか
と、課題に入っていくのはそれからでも遅くはないと私は思います。

(委員長) 今、上野委員の方からは、もう少し課題を精査していく。その現
状の分析をし、それから報告、資料を出し、その上で何をするかとい
うことを考えていったらどうかというご意見でしたが、そのほかに何かご意見はご
ざいませんでしょうか。

(委員) 今の上野さんのご意見に賛成なんですけれども、この次の会議でそ
れをやっていたのでは遅くなりますので、できれば資料は事前に私たちの方
に送っていただきまして、皆さんでそれをちゃんと検討した上で次の会議で
進めた方がいいと思います。

(委員長) 今、能率的に会議を進めていくためには、前もって資料をとい
うことですが、ここあたりを、企画部会の方で少しもんでみて、それでこの課
題についてはこういう状況に今ある、それから、この課題についてはまだ取

り組んでいないし、これを一緒にすればどういう課題としてやっていけるかというところをもんでみて、それで皆さんにご提案できればというふうには思いますが、そんな形でいかがでしょうか。これを漠然と見ても、堂々巡りしてくる気がしますので、もう少し具体的に検討を加えてみて、それで皆さんに前もって次回の会議がある前にお配りして、目を通していただいて、それでまた企画部会の方で少し課題を絞ってみるということをしていきたいと思っております。またご意見があったり、ご希望があったりした場合には、どんどん企画部会の方に意見を委員の方は寄せてくださるということにしておけば、一方的に企画委員がやっていくのではなくて、また、それを提案して、ここで検討という形にしていきたいと思っております。

それでは、石田副委員長ご意見があるようですので、お願いします。

(副委員長) 試行会議のときにも、課題はたくさん出てくるだろう、その中でこの区民会議にかけるものを選ぶのは一体どうやってやるのかという具体的なビジョンといいますか、そういったことがかなり討議されたし、区民の方々からもその辺が心配だという意見がありました。課題を選んでいるだけで1年たってしまうというような声さえありました。今、皆さん方から寄せられた意見というのは、一応この決まりによると企画部会でもって調整して整理するという役割を負っているようなので、間もなく第1回の企画部会が開かれますので、そこで、さらに今出ている、例えば既存の組織がやっているものについても、もうやる必要はないという意見ではなくて、それとどういふふうに関和していくのかというご意見だったと思います。これはもっともだと思います。それから、この分野というのは、市の総合計画の分野別と重なっているわけです。ある意味では縦割りです。中島委員がおっしゃったように、行政の縦割りをやっているわけです。むしろこの区民会議では、地域の問題というのは、縦割りでもって生活をするわけにはいけないので、毎日毎日が全部それを横に貫いているし、もしくは絡み合っている。そういう問題なので、必ずしも分野別ということにこだわる必要もなさそうだというご意見もよくわかります。ただ、既存の組織がやっている作業というのは、おおむね行政が絡んでいる場合、どうしても縦割りを引きずった中でやっているの、そこに反省点がひょっとしたらあるのかもしれない。既にやっけていて解決されているのであればいいんだけど、解決されていないからこういう形の会議が持たれるということからすれば、これも必ずしも今やっていること、もしくは行政がどこでやっているということにこだわる必要はなく、皆さんの生活実感からいって、やっぱりこういうふうにしていった方がいいんじゃないかというご意見が出れば、それは大いにやっていきたい。

ただし、そのためには現在どうなっているかという実態は、特に行政が絡んでいるものについては行政から資料を出していただく。今回出したシートにもそう書く欄がありましたが、その用意は行政にさせていただいて、企画部会の方に出していただき、時間があれば同時に全員にそういった資料を出すというような形にして、一応時間の問題もあると思いますので、なるべく早く皆さんの審議を課題の解決に持っていきたいので、拙速をとるとは必要はないのですけれども、適当なところで手を打たなければならないということは、スケジュール表からみても、次回はもう既に実質的な審議に入りたいと色濃くにじみ出ているし、皆さんも同じ思いだと思いますので、その準備は次回までの間に企画部会が受けてやらざるを得ないんだと。きょうは、もし時間があるならば、許す限り皆さんから自由な意見、設定をどうしたらいいかというご意見だけ伺っておいたらよろしいと思います。いかがでしょうか。

(委員長) ありがとうございます。今、石田副委員長の方からも話がありましたように、ぜひ皆さんから忌憚のない意見をいただきたいと思っております。意見があればあるほど企画部会はやりやすくなります。何もないとこでやらなくてはいけないというと、どこまで企画部会が踏み込んでいいかというのが非常に難しくなってくるので、ぜひいろいろな意見を出していただいて。確かに、この分野別というと何かぴんと来ないところがあると思うのですが、やはり区民会議でやっていくということは、すぐに実行していきたいということがあるわけですね。たった4回しかないもので、4回の中に結論を出して活動のところまで上げていかなければいけないということが要求されています。そうしますと、例えば今回は少しできることからやっていこうとか、それを来年に向けてどうつなげていこうかという議論でもいいと思います。こういう分野別でないと、高齢者とか、子育てだとか、福祉だとか、環境の問題というくくりで出てくる場合が多いですけれども、すべてそれは本当を言えば、暮らし、よりよく過ごすという、その生活と関連してきているわけですね。だから、我々は生活者として考えるときには、いつもこういうものが全部まぜこぜになって入ってきているというので、そういう中で一体何をとっていくかということを考えていきたい。だから、ここで言えば人のコミュニティとか、人の輪だとか、そういうものは、そこはもう少し大事にしていこうではないか、高齢者の問題をやっていこうではないか、まちづくり、まちづくりと言っても、まちづくり局がやっていることではないようなまちづくりの問題ということもある。いろいろなことがあると思います。何か皆さんの方からご意見をお願いしたいのですが。

(委員) 私は立候補しなかったので、企画部会の方には大変労働がかかって

申しわけないと思うのですけれども、ここに出ている 23 の課題というのは、企画部会としては情報としてとらえていただいて、こういうものをいろいろ議論した中で、我々が具体的に取組みそうな課題をクリエイトしていただくというようなつもりで企画部会をやっていただくと思います。

(委員長) ありがとうございます。ほかに何かありますか。

(副委員長) 一委員として意見を述べさせていただきたいと思うのですが、麻生区で進める課題を一度はトータルの共通認識、共通理解を図っていった方がいいだろうというふうに個人的に思います。例えば私が3番目の領域を制度の中に入れてきましたし、今日も考えてはいるのですが、とかとか、ほかの分野の方でどういう課題が麻生区にあるのか、あるいはどういうところまで到達しているのか、そうした現状認識等は非常に浅いし、そういう浅い中で課題を考えていくというのは非常に無理が出てくるのではないかという感じがいたします。したがって、必要な場合には臨時に会議を開くことができるという、そのような項目も入っていますので、一度は委員同士の勉強会、麻生区の課題をトータルにとらえていく時間もあっていいのではないかと個人的には思っています。

(委員長) ありがとうございます。勉強会等でもう少しもんでみたらというご意見ですが、またこれも企画部会で考えて、いろいろな取り組みの現状、レベルですね、そういうものも把握して、なおかつ区民が共通認識できる、共通理解ができるような課題を考えるためにはどうしたらいいか勉強会をしたらどうかということだと思います。その点も含めて企画部会で検討することで一つ提案があったと思いますが、あといかがでしょうか。

(委員) 先ほども委員の方から発言があって、大賛成なのですが、から分野別の項目すべての根底はやはり人と人の触れ合いの大切さ、今、麻生区で非常に失われてきている隣近所とのつき合いとか、他の県から、あるいは他の地域から引っ越してきた人は翌日からは麻生の区民であるという意識とか、ほかから持ってきてくださったいろいろな知恵をどんどん伺って、それをまた自分たちのまちに盛り込んでいくという意識を持つことは非常に大事なことだと思うのです。そういう意味で、やはり人と人がつながるコミュニティというものをこの分野の7つの中の根底はきちんと持って、そういう場を区民会議を機にもっといろいろなところで発生させていくというのをぜひ私は希望します。その中で、人が触れ合うから初めていろいろな意見が出てくるし、いろいろな知恵もいただけたと思いますので、この分野のところの根底の部分にコミュニティの話を、さきほど、きょうの区民会議の委員の中で一番お若いと思うのですが、おっしゃっていました。私も賛成で、ぜ

ひその点は皆さんの根底の中におさめていただけたらと思います。

(委員長) ありがとうございます。少し方向性が見えてきました。この中の資料の整理をすることと、それから、今根底にあるのはコミュニティ、触れ合いの大切さ、人と人との関連というのがやはり大事ではないかという、これはどの分野にも入ってくる問題だと思っています。この後の議事もあるものですから、そろそろこれで整理をさせていただいて、企画部会の方で少しもんで、ぜひ皆さんにご提案させていただきたい。この企画部会の方で、例えば勉強会の提案があるかもしれませんが、それから、次回の会議でもって幾つかの柱を出すような形で提案させていただくことになるかもしれませんが、その点を少しお任せいただければというふうに思っています。何かご意見がその後ありましたら、いつでもお願いします。次回の企画部会もまだすぐに開かれるわけではないので、ご意見を事務局の方にお寄せいただければと思っています。非常に闊達なご意見、いろいろいただきましたけれども、何とかこれで走り出そうというふうに思っていますので、よろしくお願ひしたいと思います。区民の方にもいろいろな提案をいただくようになっていきますので、また何かありましたら、ぜひそれも入れて検討していきたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。これできょうこの審議課題についての議事は終了です。私の議事進行が悪いようで、課題がきちんと絞れませんでしたので申しわけありませんでしたが、何とか次回はもう少しはっきりできるようにしていきたいと思っています。きょう、参与の方においでいただいたのですが、今までのところでご意見とか、ご助言とかありましたら、ぜひお願ひしたいのですが、どなたからでも結構です。よろしくお願ひします。

(参与) 先ほど麻生区区民会議の運営の課題の把握の(2)、仮称がついていて、提案箱を設置することについてはどうなのかというのを聞いていないのですが、多分企画部会のところでもう一度練るという意味だったのでしょうか。ご提案の中になかったのですけれども、やはり一番問題になるのは課題なんですね。どういうものを委員はそれぞれの立場の方、公募なさった方もそれぞれの立場で課題を持っていらっしゃると思うのですが、一般の区民の方からの提案というのも、やはり必要なことなので、この(2)の課題箱の設置はみんな了承できることなのだろうと思うのですがいかがでしょうか。

(事務局) 「課題の把握等」の方法というところで、なるべく多くの方からいろいろな課題を上げていただくことが大切だと思っております。ここの「(仮称)課題提案箱」ということで、この設置の仕方等も含めて、企画部会の中でもんでいただいて、条文の中に盛り込んでいただくかどうかというところも含めて検討していただきたいと思っております。また、今のよう

課題が多岐にわたる部分がございます。そういったことも含めて、企画部会の中で、本会議に出す際の指標づくり、こういった課題をどのように整理して本会議の方にお出しいただくかという部分も含めて、企画部会の中でもんでいただいて、指標づくりの方もさせていただければと思っております。今回は全部の課題について、出していただいたものをそのままお出ししております。これは事務局の方で手を加えない方がよいだろうということがありましたので、そのままお出しさせていただいておりますが、次回以降、企画部会等が立ち上がりますので、その中でお出しする課題等の出し方についても、もんでいただきたいと思っております。

(委員長) ほか、参与の方で、何かご意見はございませんでしょうか。

(参与) 試行のときにはなかなか議論が難しかったように思いましたので、議論ができて本当に始まったなという感じで、私はわくわくしながら皆さんの意見を聞いておりました。ただ、課題のところはかなり難しそうですね。企画部会でそのところはやっていかななくてはいけないということに対しては、ぜひご尽力いただければというふうに思いました。ただ、ここには20の方が委員として選ばれてきていますけれども、やはり区民会議というのは区民のものでなくてはいけないということで、これからどのように市民に広報していくか、それから、市民のニーズを拾っていくかということも大きな課題になってくると思います。事あるごとに、この企画部会のところでは広報ということも入っておりましたけれども、いろいろな広報、川崎市が出している広報とか、いろいろな場をとらえて、区民会議が始まりました、区民会議はこういうものです、市民がみずから自分たちのまちをつくるための会議ですということをいろいろな場所で広報していただきたいなと思しました。今後について、私も参与としての立場で何ができるのかということも自分自身でも問いながら、これからも皆さんの議論を期待して見せていただければというふうに思っております。ありがとうございます。

(参与) 私も1点だけ、事務局の方をお願いしたいのですが、今、さまざまなお議論の中で、企画部会の方のご負担が大きくなるのではないかなと、先ほどからの議論を聞いてすごく思っていました。資料等の準備段階も含めまして、やはりどうしても行政がつくる文章というのは一般の方々にわかりづらい部分が往々にしてございます。整理の仕方も、先ほど来ご意見が出ていましたように、役所的でないような、このイメージ図なんかは非常にわかりやすいのですけれども、なるべく図表化したり、あるいはイメージがわくような形で準備をしていただいて、スムーズな会の運営、事務局の役割も大きいと思しますので、一言要望させていただきます。

- (参与) 委員の皆さん、お疲れさまでございます。県会議員の吉田でございます。私は県会議員で、この区民会議条例そのものの議論や区民会議のスキームの議論というものは、議会という立場では直接公的にはタッチをしていないので、多少事実誤認をしている部分があるのかもしれないですが、きょう、いろいろとこの資料も改めて拝見をさせていただいて、委員の皆さん、それぞれ任期が2年あるということで、実質、8回の会議に臨まれるわけでございます。そうすると、きょう最初の任期のスタートはこういう形になっていくとなると、実質7回の審議しかできないということでもありますので、その1回1回の中で、例えばここにきょう上げられております、23項目、個別の課題があるわけですが、そうした個別のピンポイントの課題を毎回の会議の中で一つ一つしっかりと解決策を見出していくというスタイルの会議をとるのか、2年間という任期の中で何か一つのコミュニティづくりとか、先ほど菅原委員の方からも話がありましたけれども、そうした一つ大きいくりの中で、それに付随してくる課題を解決するために1年で切るのか、2年で切るのか、議論のスキームというものも企画部会の中でもぜひ議論をされてみていいのではないかと、そんなことを感じさせていただきました。
- (委員長) ありがとうございます。参与の皆さん方には今後とも区民会議でご助言いただきたいと思いますので、また何かありましたら、ぜひよろしくお願いいたしたいと思います。

6 報告事項「川崎市都市計画マスタープラン素案」概要説明

- (委員長) それでは、大変遅くなりましたが、続きまして、川崎市の都市計画マスタープランの素案の概要説明について事務局の方からお願いいたします。よろしくお願います。
- (事務局) まちづくり局都市計画課より資料に基づき説明(資料4)

7 その他

- (委員長) ありがとうございます。それでは、最後になります。その他のところ、事務局から何かございますでしょうか。よろしくお願います。
- (事務局) 総務企画課企画調整担当より事務連絡

8 閉会

- (委員長) 本当に長時間にわたるご審議、ありがとうございます。また、つたない議事の進行でしたが、ご協力いただきまして、本当にありがとうございました。それでは、第1回の麻生区区民会議を閉会させていただきます。ありがとうございました。(拍手)

午後 8時10分 閉会